

平成28年度日進市立学校給食センター運営委員会（第2回）議事録

日時 平成29年3月13日（月）

午後1時～

場所 日進市立学校給食センター  
2階会議室

[出席者] 早川 佳秀  
吉田 勝俊  
新井 三代  
萩野 一志  
野村 優子  
田貫 浩之

[欠席者] 久保田 力、笹本 基秀

[事務局] 教育部長 西村 幸三  
学校給食センター所長 中川 学  
栄養士 山本 重樹  
主幹 星野 千鶴

[傍聴者] なし

[議題]

- 1 平成29年度主要事業（案）について
  - (1) 基本方針と目標について
  - (2) 当初予算（案）について
  - (3) 給食実施計画について
- 2 平成29年度学校給食用物資納入業者について
- 3 その他

( 開会 午後0時55分 )

事務局：定刻より前ですが、始めさせていただきます、よろしいでしょうか。

(委員それぞれから「はい」という応答あり)

みなさまには大変お忙しいところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

ただいまから、平成28年度第2回日進市立学校給食センター運営委員会を開催いたします。はじめに、会長よりご挨拶をいただきます。

会 長：日頃は、子どもたちのためにご尽力をいただきまして、ありがとうございます。

本日は、久保田委員、笹本委員から欠席の連絡をいただいております。委員6名の出席で、委員の過半数以上の出席をいただいておりますので、運営委員会規則第7条第2項によりこの会議は成立します。

本日は傍聴の申し出はございません。

会議は、お手元の次第に沿って進めてまいります。

議題(1)平成29年度主要事業(案)について、基本方針と目標、当初予算(案)、給食実施計画の3点を事務局から説明願います。

事務局： ( 基本方針と目標、当初予算(案)、給食実施計画について、  
資料1、資料2、資料3に基づき説明 )

会 長：今の説明について、ご意見、ご要望、ご質問等ありましたら、ご発言  
お願いします。

副会長：資料2(29年度当初予算(案))の賄材料費ですが、120万円ほど減  
っていますが、どのような理由で。

事務局：賄材料費は、1食あたり小学校243円、中学校273円を目安にして  
います。28年度は194日の給食実施と計画していました。が、  
29年度は給食実施回数が193日で、1日減っています。  
給食の賄材料費は、1日につき220万から230万円かかります。  
保存食などが関係していることもあり、実施回数が1日減ったため賄  
材料費が120万円ほど減るということです。

会 長：食器が最近よく割れているようですが、これは劣化もあるのでしょうか。

事務局：最近、（食器の破損については）気にしていません。

29年度は、食器洗浄機(碗用)の入替えを予定しています。食器（お碗）は1日18,000個洗っています。その中で、数を数えているのですが、聞くと、欠けてはいないが、配送後、（食器カゴの）中で割れたものが見つかる。目視で検査できないものが配送されているのが現状で、機械もやっぱり古くなってきたというのものもあるし、あと、食器につきましては、ある程度は、何%は割れても、それは覚悟している、始めから計上しているんですね。年間200万円ほどは補填するような形でやっているんですけども・・・。

最近、食器の破損が多いものですから、調理業務受託者には、機械の取扱いについて注意するようにお願いしています。

なかなか見つけられずにすみません。重なっていくものですから。

会 長：定期的に入れ替えはされているんですね。

事務局：年間、200万円くらい買っています。

会 長：ほか、よろしいでしょうか。

（ 発言者、なし ）

議題(1)につきましては、ただいまのご意見等を参考にしていただきまして、安心安全の給食づくりに取り組んでいただきますようお願いいたします。

次に議題(2)「29年度学校給食用物資納入業者について」、事務局から説明をお願いします。

事務局：（平成29年度学校給食用物資納入業者について、  
資料4に基づき説明）

会 長：給食用物資納入業者に対するご意見、ご質問などありましたらお願いいたします。

( 発言者、なし )

よろしいですか。

それでは、「3 その他」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：現在、とりまとめ中の結果報告書(案)についてご説明するものです。  
平成28年度の給食費改定に伴い、献立内容の充実、食育の推進、地産地消及び残菜の減量等に取り組むたいと考え、アンケートを実施したものです。

( 学校給食アンケート結果報告書(案)について、  
資料5に基づき説明 )

会長：ありがとうございました。それでは、何かご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

副会長：残るものはどのようなものが多いのかということと、残ってしまう比率が高いときはその献立を食べやすくするか、材料を変えたりか、献立からはずすとか、更新するときの参考にされるんでしょうか。

事務局：毎日の残菜量を調べていると、根菜類の入ったものは、量も多くなる関係で、比較的、残る率が高いということと、子どもの意見でどのように捉えればいいのかわかりませんが、「ごはんのおとも」をもう少しつけてほしいという意見がありました。

残菜量と献立内容という点でみると、カレーとか、豚丼とかの混ぜものについては、比較的、ごはんとおかずを混ぜることによって食が進んでいるようですが、例えば、ハンバーグの日等は、ハンバーグとその他のおかずを食べて、白いごはんが残ってしまうというような、単品で子どもたちが好むものを食べて、ごはんが思ったように食が進まないような傾向があると見てとることはできますが、実際そのことについてなぜ残すのかという問いかけをしているわけではありませんので、あくまでも色々なデータを組み合わせて分析すると、「そうではないか」という想像をしています。

事務局：根菜類、野菜を使った和え物などは、ドレッシング系の味付けのものは、比較的、食べるようですが、しょうゆ味が続いたりすると、どうしても残りが多くなるという傾向にあります。そのあたりについては、

回数とか、組み合わせを考えながら、実際やっています。やはり、どうしても野菜の和え物とかが、比較的残りやすく、やっぱり、野菜は摂取してほしい食材でもありますので、そのあたりを工夫しながらやっています。

最近ですと、乾物、切り干し大根を使ったときは、かさが増えやすくなってしまったり、ひじきとかそういうものを、量の割合とかを考え、最終的には組み合わせが非常に大切だと思いますけど、そのあたりを更に工夫しながら提供していきたいと考えています。

副会長：医師として気になるのですが、中学生の質問に対する答えの中で「太りたくない」という理由がありましたが、非常にやせている女の子だったりすると、生理が止まったり、成長が止まったりして、精神的なところもケアしていかないと逆に気になるなあと。神経性食思不振症といって、やせているのにアイドルとかを見て、「もっとやせなくては」と思うケースがありますので、非常に注意してみていかないと、思いませんね。

委員：現在でもかなりの数の献立がありますが、子どもたちはどんなものを食べたいと回答したのですか。

事務局：「刺身が食べたい」とか、「もう少し、お肉をだしてほしい」とか、忌憚のないご意見をいただいています。また、同じハンバーグでも味の異なるものもいいとか、色々な意見もありましたし、逆に、キノコ類の嫌いなお子さんも多いので、「キノコ類を避けてほしい」といったものです。読んでいてほほえましくなるような意見も多くいただいています。

会長：その他いかがでしょうか。

( 発言者、なし )

事務局：よろしいですか。先ほどのアンケート結果の先生方の回答の食べ残しのところで、少食とか偏食というような理由が挙がっていました。副会長からもご指摘がありました。保護者の目で見ると、いかがでしょうか。家では、育ちざかりなので、結構、食べていらっしゃいますか。それとも少食気味ですか。

委員：うちの子は、食べる方だと思います。

朝も夜もきちんと食べていますが、お昼が一番お腹がすくらしく、給食も「おかわり」をしたり、友だちのモノをもらったりして食べているらしいのですが、女の子としては稀なタイプのように、クラスで一人くらいしかいないようです。また、部活動でお弁当を持っていくときには、昔ながらの大きいお弁当箱を持って行くのですが、ほとんどの友だちは、細くて、二段の少ししか入らないお弁当箱のようで、ちょっと変わり者っぽく見られているようです。よそのお子さんは、少食の方が多いのかと、私もすごく不思議だったんです。

委員：「おかわり」は、やっぱり恥ずかしいと思います、女の子は。人より多く食べることは、やはりからかわれるようです。「そんなに多く食べるの？」と、同性から見られることは、多分、イヤなことだと思います。その場で友だちにあげたり、男の子にあげたりしているようです。やはり、気になる子は気になる、太りたくないというのも…。給食くらいでは太らないとは思いますが…。

事務局：スナック菓子は食べているのですか。

委員：食べます。

委員：ご自宅ではごはんはしっかり召し上がっているんですか。

委員：あまり、食べないです。食べないときもあります。身体測定の前になると、なんとなく気になっているようです。TVに出ている人たちは、特殊な細さだからと言ってはいるのですが…。  
うちは、もともとはそんなに食べないということがあると思うんですけど。

会長：先週、お弁当の機会がありましたが、みんな持ってくるお弁当箱は小さいですね。多分、給食で始めに配膳される方が量的には多いですね。

事務局：先生方にお聞きしたいことがあります。

アンケートの仕方によって回答も変わってくると思いますが、「食べる時間が短い」というのが結構多く出ていましたが、食べるスピードの早い子もいれば、遅い子もいると思いますが、「時間が短い」というのは、そもそも給食を食べる時間が短いのか、それとも早く食べて、

遊びたいとか、放課で何かとか、なにか理由があるのでしょうか。根本的に時間が短いのでしょうか。

委員：多分、設定された時間そのものが短いとは思いますが。現在、だいたい40分から45分くらいでやりますけれど。準備に時間のかかる食材のときは、片付けの時間には必ず間に合わせなければいけないので、途中で、「急いで」、「片付けて」、「ごちそうさま」やってというふうにと。ゆっくりとランチを楽しむような状況ではないです。

子どもたちにしてみれば、早い子もいれば、遅い子もいますけれど、もう少しゆとりがあればなあとは、我々も指導していても思うことがあります。

例えば、お弁当の日は、早いです、やっぱり。決して、食の進み具合が給食だから遅いと言うことではないとは思いますが、設定された時間の中の、限られた時間というものが確かに短いなという気はします。「もう少しゆっくり食べさせてあげればなあ」ということは思うのですが、なかなか、一日のカリキュラムというか、時間の中では。かといって、それを延ばすといいかという、次に掃除があつたり、放課に外で遊びたいということがあるものですから。

毎年、給食の時間が短いんじゃないかということは、聞いています。

委員：実質、どれくらいの時間で食べているのでしょうか。

委員：15分から20分くらいですね。

会長：個人差が結構ありますからね。

私どもの学校は、比較的長く時間をとっています。もともと残菜の多い学校だということで、時間を長くしています。今、おっしゃったように、日によって準備にすごく時間がかかったり、カレーなんかだと短い時間でいいんですね。

好き嫌いがかなり左右しているんですね。

事務局：ありがとうございました。

会長：ほか、よろしいですか。

( 発言者、なし )

会 長：ありがとうございました。では、一旦、事務局にお返しします。

事務局：本日は、教育部長が同席していますので、教育部長からご挨拶申し上げます。

（ 教育部長あいさつ ）

事務局：どうもありがとうございました。

これをもちまして、第2回学校給食センター運営委員会を終了いたします。

（ 閉会 午後1時40分 ）